


しまねの土地改良だより

平成24年12月1日発行

 水土里ネット島根

■ 第35回全国土地改良大会沖縄大会開催

平成24年11月21日（水）、沖縄県那覇市奥武山総合運動場武道館アリーナ棟において、第35回全国土地改良大会沖縄大会が開催されました。

沖縄県本土復帰40周年の節目に開催された本大会は、「水土里豊かな守禮の邦 美らさん真心 おーきな和」をテーマに、沖縄県の農業農村の振興と、農業農村整備事業の役割を広く国民にアピールするため全国水土里ネット・水土里ネット沖縄の主催で行われました。



大会は、水土里ネット沖縄の古謝会長、野中全国水土里ネット会長、仲井間沖縄県知事の挨拶後、土地改良事業功績者表彰が執り行われ、本県からは前美郷町長の沖野健氏が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

次に農林水産省農村振興局林田次長から基調講演が行われ、新たな土地改良長期計画の概要、7つの政策目標と今後の展開方向について講演がありました。

また東日本大震災の早期の復旧、復興に向けて、全国の水土里ネット仲間が一体となり取り組むとともに、今後の農業農村整備事業の更なる推進を確認するため、岩手、宮城、福島3県からの報告も行われ、最後に大会宣言を行い大会が無事終了しました。

本県からは総勢39名参加し、大会参加とともに、河川が少ない沖縄での重要な農業用水源としての慶座地下ダム視察、島根県慰霊の塔、普天間基地が一望できる丘にある島根の兵奮戦の碑等も視察しました。

次期第36回全国土地改良大会は、平成25年9月11日北海道札幌市にて開催されます。

・第35回全国土地改良大会沖縄大会開催	1
・「うしおの沢池」で企業参加の森づくり	2
・雲南農業農村整備推進協議会研修会	2
・千酌地区経営体育成基盤整備事業竣工式	3
・平成24年度 換地計画実務研修会・換地委員等実務研修会開催	3
・松江市内土地改良区合併に向けて	3
・農村災害ボランティア活動（地すべり防止施設点検）について	4
・今後の主な予定	4

■ 「うしおの沢池」で企業参加の森づくり

10月30日（火）雲南市大東町山王寺の「うしおの沢池」（全国ため池百選選定地区）で、昨年に引き続き水源林再生活動として、農村災害ボランティア、海潮地区振興会、大原森林組合、行政関係者及び本会など60名余りの参加により、「しまね企業参加の森づくり制度」にもとづく、森林保全活動を実施しました。

当日は、今にも降り出しそうな曇天のもと、事前に伐採した雑木等の小枝等を3台の樹木粉碎機により処理し、苗木植栽が出来るよう整備を行いました。



引き続き11月2日（金）には、「うしおの沢池」周辺を憩いの場としての特色ある四季の景観作りや水源林の機能を再生することを目的に、海潮小学校6年生18名とともに、約20aの植樹地に桜及びカエデの苗木合わせて100本を植樹しました。

植樹後、沢池の歴史、森林の役割、水源林や里山について説明し、子供達から活発な質問が飛び交い非常に有意義な時間となりました。

今後とも、次世代を担う子供たちに、地域の豊かな環境を保全していく必要性を伝えていく活動を継続していきたいと思います。

■ 雲南農業農村整備推進協議会研修会

雲南管内の市町及び土地改良区で組織する雲南農業農村整備推進協議会主催による研修会が、11月7日（水）奥出雲町で会員、東部農林振興センター、雲南県土整備事務所及び本会から約30名が参加し開催されました。

現地視察は、横田1団地の奥出雲農園を訪ね、企業参入の支援事業を活用した約4haの敷地に5棟の栽培棟を備える高原トマトの栽培施設を見学しました。

研修会は、横田庁舎3階会議室において開催され、本協議会の井上勝博会長（奥出雲町長）からの挨拶後、東部農林振興センター調査計画スタッフ及び雲南県土整備事務所農林工務部の担当者から、管内における農業農村整備に係る取組や事業説明、情報提供等、また本会からは「うしおの沢池農業用水・水源林保全隊」、「汎用化水田整備事業」、「水土総合強化推進事業」について情報提供を行いました。

研修会終了後は、情報交換会が開催され、地域が抱える諸問題等について活発な情報交換が行われるとともに参加者の懇親が深められ有意義な研修会となりました。

■ 千酌地区経営体育成基盤整備事業竣工式

平成24年11月7日（水）松江市美保関町で千酌地区経営体育成基盤整備事業の竣工式が、多数の関係者が出席し執り行われました。

この事業は、島根県が事業主体となり、受益面積23.3ha、暗渠排水23.3ha、耕作道路3.6km、用排水路7.0km、総事業費5億1千万円で、平成18年度から平成23年度にかけて実施されたものです。

本事業を契機に設立された農業生産法人「農事組合法人ちくみ」には、地区内の農地の約8割が集積され、今後水稻の低コスト生産や環境保全型農業に向けた取り組みが期待されます。



■ 平成24年度 換地計画実務研修会・換地委員等実務研修会開催

11月26日（月）、27日（火）の2日間にわたり、県・市町村の職員、土地改良区役職員、換地技術者及び地元換地委員等52名の参加により、換地事務に関する研修会を本会会議室にて開催しました。



本研修会は、県内換地技術者の換地に関する知識、換地事務処理能力の向上を図ることを目的とし、換地理論、基礎調査・換地設計基準といった換地事務の基礎的な知識の習得、農地転用許可制度、換地関係登記事務として換地処分と地役権の登記および不動産登記制度、換地計画書の作成について研修しました。

今後も換地事務担当者の方々に関心を持って頂けるような研修内容にしていきたいと考えています。

ご意見・ご要望がありましたら本会までお寄せください。

■ 松江市内土地改良区合併に向けて

11月28日（水）、松江市内土地改良区理事長、事務局長会議が開催され、8土地改良区理事長及び事務局長全員出席により、市内8土地改良区の合併について協議が行われました。

冒頭松江市川原産業経済部長から、市として合併を推進したい旨の挨拶があり、その後県内の合併状況、合併方針、調整事項、合併推進検討委員会の設置、スケジュール等々について協議され、最後に参加者全員により合併することが承認され、今後詳細について協議を進めることが確認されました。

■ 農村災害ボランティア活動（地すべり防止施設点検）について

県内の地すべり防止指定地域は、294カ所、14,109haからあり、集水井475カ所、水路工5,070カ所、水抜ボーリング3,396カ所等々数多くの地すべり防止施設があります。

これらの施設は既に耐用年数が経過して老朽化した施設も増え、維持管理の重要性が増大してきています。

そこで、島根県農村災害ボランティアでは、適切な施設の維持管理の必要性について、地域住民等に広報するため、下記の通り施設点検を実施します。

平成24年12月 3日 県央県土整備事務所大田管内地すべり防止施設

平成24年12月18日 松江市八雲町 平原地区地すべり防止施設

現在上記2地区を予定しておりますが、ご要望あれば他地区にも行きますので、事務局（本会）までご連絡下さい。

■ 今後の主な予定

- 12月 3日 地すべり防止施設点検活動（大田市）
- 12月 4日 県土連親交会（OB会）総会（松江市）
- 12月 6日 中四国土地改良事業団体連合会技術部会（広島市）
- 12月17日 本会監事会・監査（本会）
- 12月18日 地すべり防止施設点検活動（松江市）
- 12月28日 仕事納め
- 1月 4日 仕事始め
- 1月17日 農業農村整備の集い（東京都）
- 1月28日 島根県農業農村整備推進協議会幹事会（本会）
- 1月29日 本会役員会（本会）
- 2月 5日 第55回県土連通常総会及び平成24年度土地改良功労者表彰式



みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp